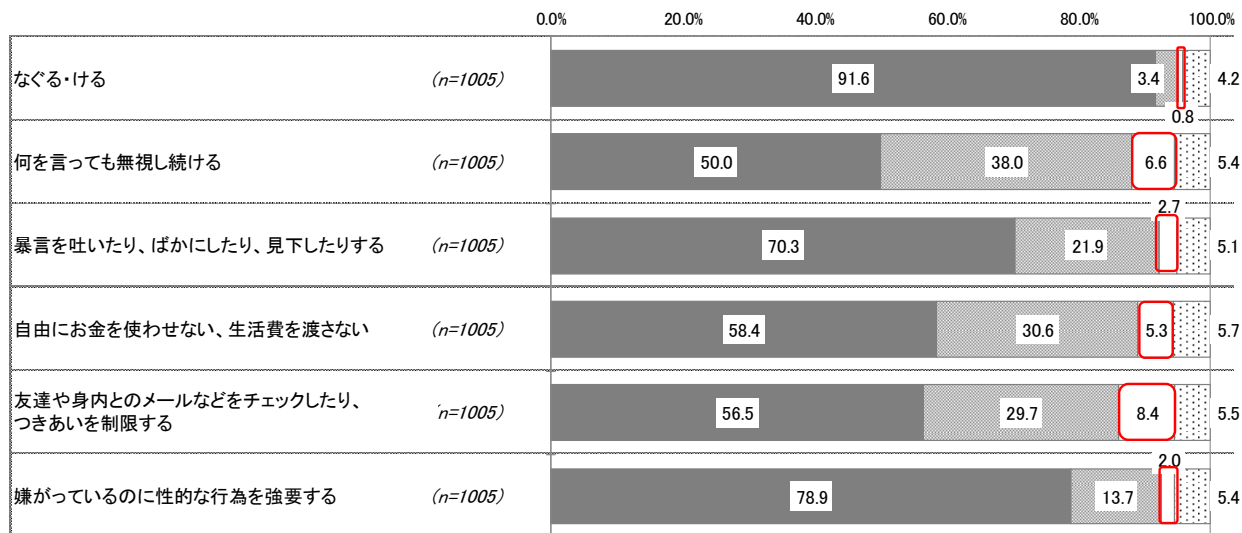


## 5. 配偶者・パートナー間の暴力について

### (1) 配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思う行為(全項目)

図表 70 問 17 次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(SA)



暴力にあたると思わない

どんな場合でも暴力にあたると思う

暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う

暴力にあたるとは思わない

無回答

配偶者やパートナーの間で行われるそれぞれの行為が、暴力にあたると思うかをたずねた。

「どんな場合でも暴力にあたると思う」行為は、「なぐる・ける」(91.6%)が9割を超え、続いて「嫌がっているのに性的な行為を強要する」(78.9%)、「暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする」(70.3%)となっている。

「暴力にあたると思わない」行為は、多いものから、「友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する」(8.4%)、「何を言っても無視し続ける」(6.6%)、「自由にお金を使わせない、生活費を渡さない」(5.3%)の順となっている。

(2)配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思ふ行為<なぐる・ける>

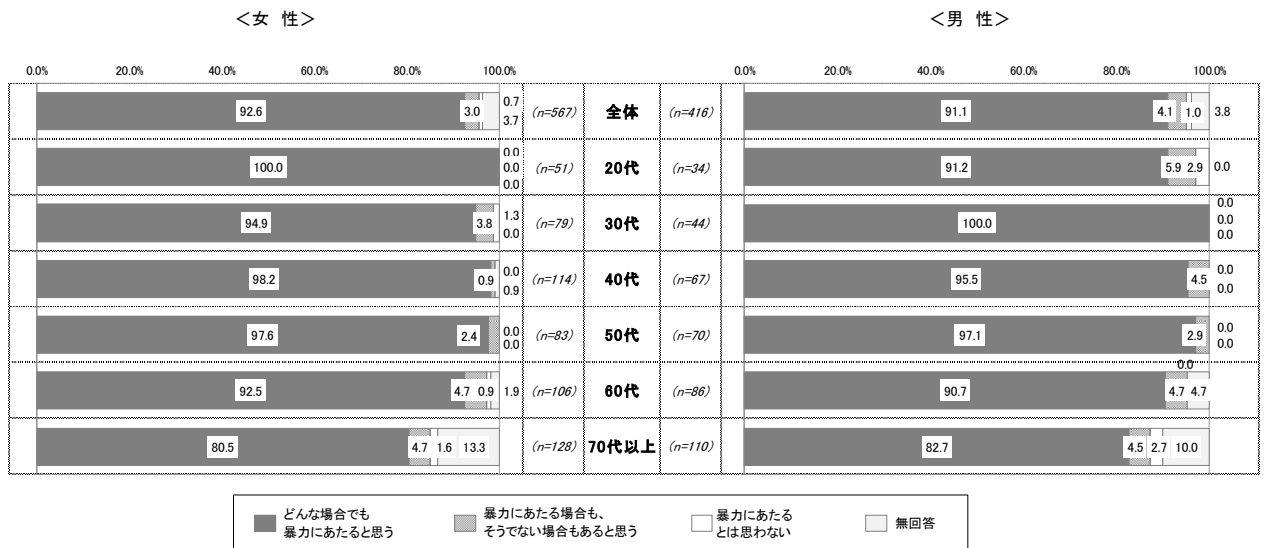
全体の 91.6%が「なぐる・ける」という行為は、「どんな場合でも暴力にあたる」行為として認識している。「暴力にあたるとは思わない」という回答は 0.8%であった。

年代別では、20代女性と30代男性では「どんな場合でも暴力にあたる」という回答が 100%で、そのほかの年代でもそれぞれ 9 割を超えているが、70代以上では男女ともに 8 割台に下がる。経年比較でみると、平成 27 年度調査の際には男性 88.3%、女性 86.5%だったのが、ともに 9 割台と認識が高くなったことがわかる。

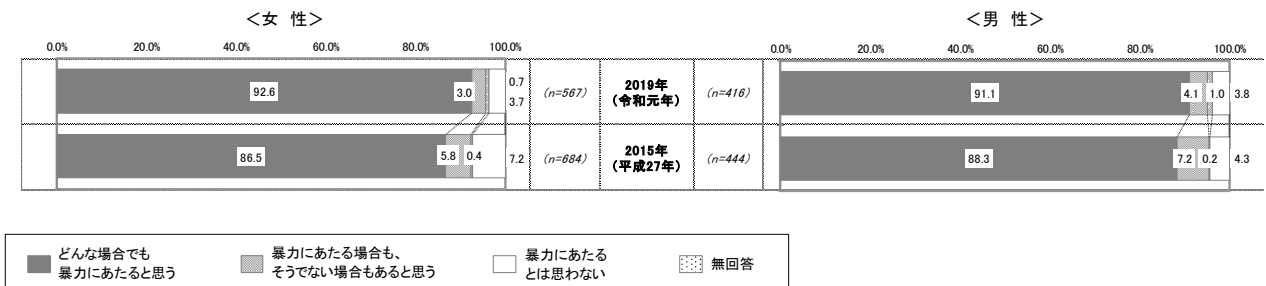
図表 71 問 17-1 なぐる・ける (SA)[全体・性別]

		全体(n)	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1005	91.6	3.4	0.8	4.2
性別	男性	416	91.1	4.1	1.0	3.8
	女性	567	92.6	3.0	0.7	3.7
	その他・答えたくない	11	90.9	0.0	0.0	9.1
	無回答	11	63.6	0.0	0.0	36.4

図表 72 問 17-1 なぐる・ける[性別・年代別]



図表 73 問 17-1 なぐる・ける (SA)[性別・経年比較]



(3)配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思いう行為を何と言っても無視し続ける

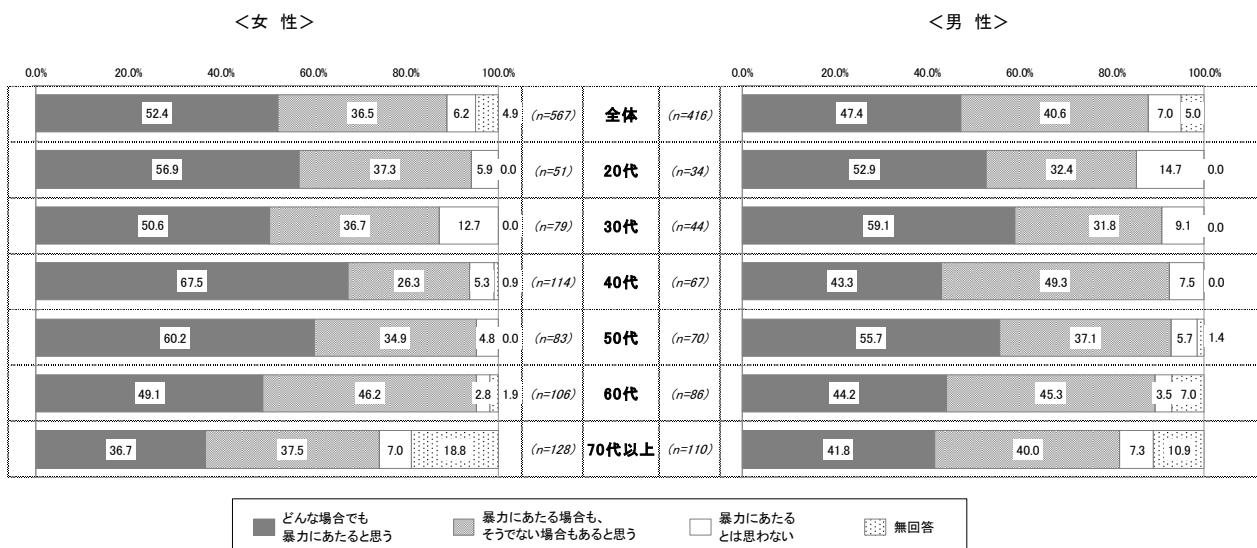
全体の 50.0%が「何を言っても無視し続ける」という行為は、「どんな場合でも暴力にあたる」行為として認識している。「暴力にあたるとは思わない」という回答は 6.6%であった。

性別・年代別では、男性では 20 代、30 代、50 代で過半数を超え、女性では 20 代、30 代、40 代、50 代で過半数を超える。特に 40 代女性では 67.5%と高くなっている。経年比較でみると、平成 27 年度調査の際には男性 43.9%、女性 43.3%だったのが、男性 47.4%、女性 52.4%とそれぞれ高くなったことがわかる。

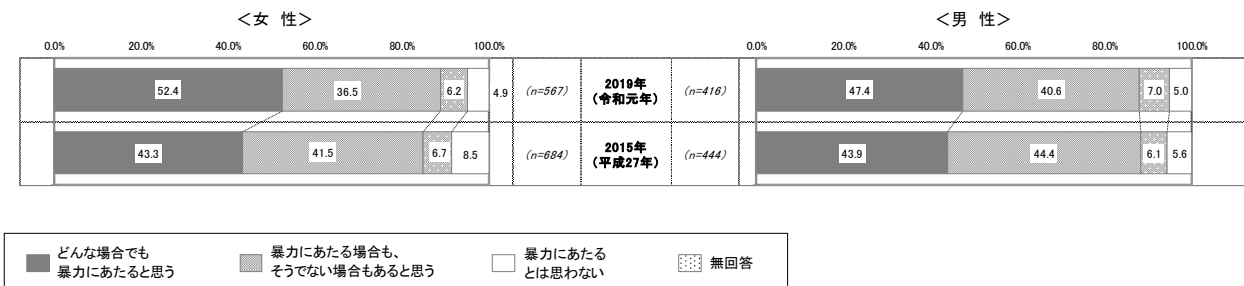
図表 74 問 17-2 何を言っても無視し続ける (SA)[全体・性別]

		全体(n)	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1005	50.0	38.0	6.6	5.4
性別	男性	416	47.4	40.6	7.0	5.0
	女性	567	52.4	36.5	6.2	4.9
	その他・答えたくない	11	54.5	27.3	9.1	9.1
	無回答	11	27.3	27.3	9.1	36.4

図表 75 問 17-2 何を言っても無視し続ける (SA)[性別・年代別]



図表 76 問 17-2 何を言っても無視し続ける (SA)[性別・経年比較]



(4)配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思ふ行為が暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする

全体の70.3%が「暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする」という行為を、「どんな場合でも暴力にあたる」行為として認識している。「暴力にあたるとは思わない」という認識は2.7%であった。

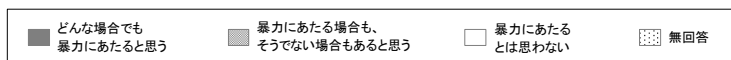
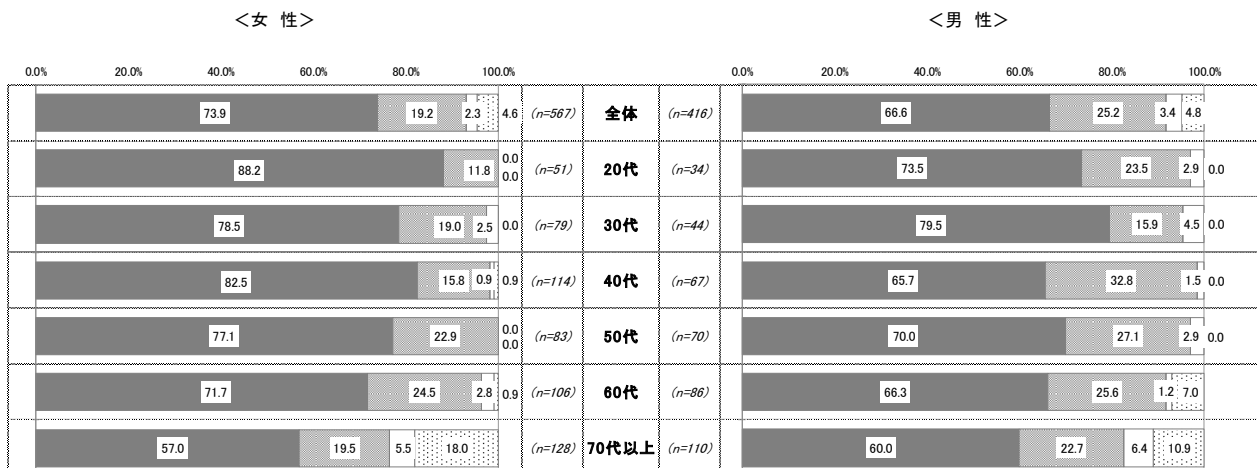
性別・年代別でみると、70代以上では男女ともに「どんな場合でも暴力と思う」という割合が低くなっている。経年比較でみると、平成27年度調査の際には男性63.5%、女性66.1%だったのが、男性66.6%、女性73.9%とそれぞれ高くなったことがわかる。

図表 77 問 17-3 暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする (SA) [全体・性別]

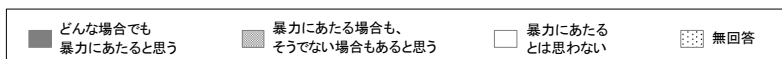
(%)

		全体(n)	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全 体		1005	70.3	21.9	2.7	5.1
性 別	男性	416	66.6	25.2	3.4	4.8
	女性	567	73.9	19.2	2.3	4.6
	その他・答えたくない	11	72.7	18.2	0.0	9.1
	無回答	11	27.3	36.4	0.0	36.4

図表 78 問 17-3 暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする (SA) [性別・年代別]



図表 79 問 17-3 暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする (SA) [性別・経年比較]



(5) 配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思ふ行為<自由にお金を使わせない、生活費を渡さない>

全体の 58.4%が「暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする」という行為を、「どんな場合でも暴力にあたる」行為として認識している。「暴力にあたるとは思わない」という認識は 5.3%であった。

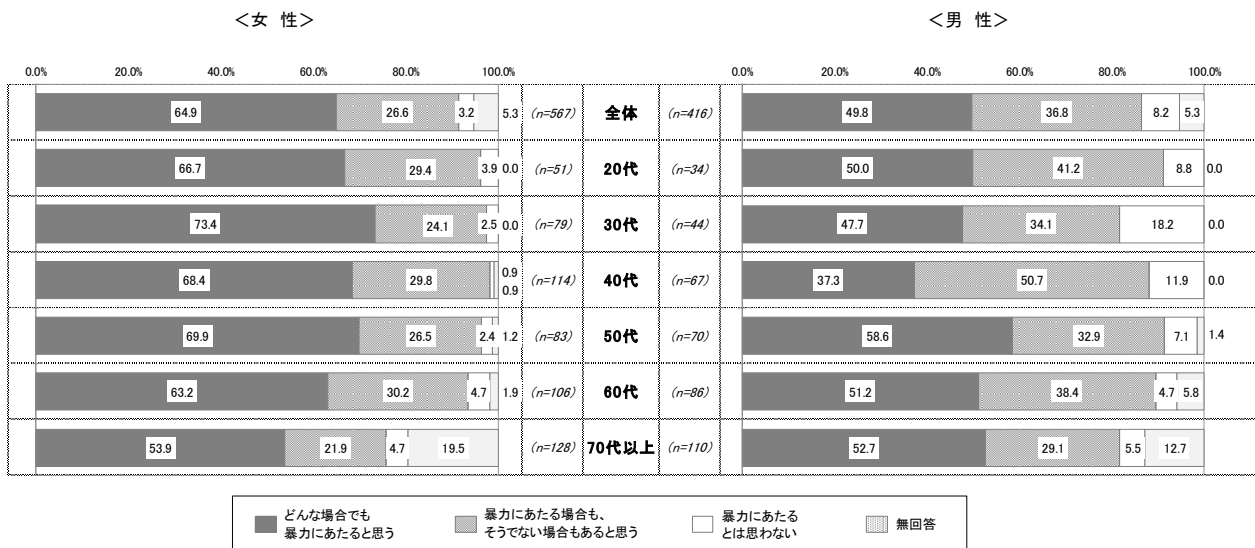
性別で見ると、男性では 49.8%が、女性では 64.9%が「どんな場合でも暴力に当たると思う」と回答。40 代男性では「暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う」が 50.7%と半数を占めた。経年比較で見ると、平成 27 年度調査の際には男性 46.4%、女性 54.5%だったのが、今回調査では男性 49.8%、女性 64.9%で、特に女性で「どんな場合でも暴力に当たると思う」という認識の割合が高くなっている。

図表 80 問 17-4 自由にお金を使わせない、生活費を渡さない (SA) [全体・性別]

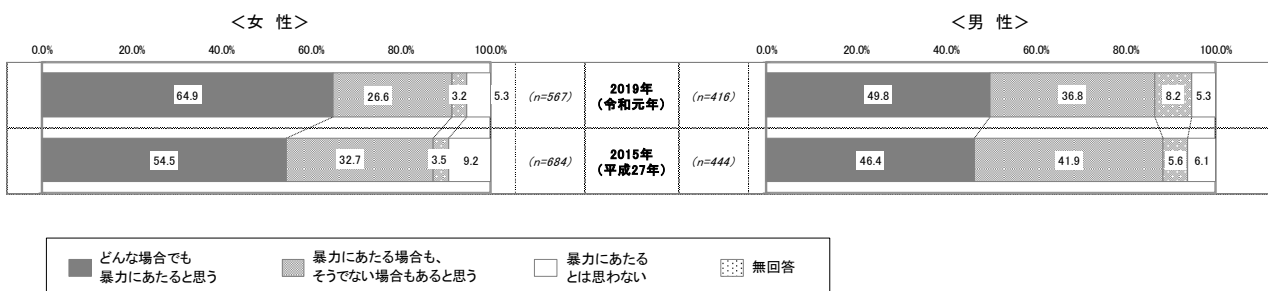
(%)

		全体(n)	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1005	58.4	30.6	5.3	5.7
性別	男性	416	49.8	36.8	8.2	5.3
	女性	567	64.9	26.6	3.2	5.3
	その他・答えたくない	11	81.8	0.0	9.1	9.1
	無回答	11	27.3	36.4	0.0	36.4

図表 81 問 17-4 自由にお金を使わせない、生活費を渡さない (SA) [性別・年代別]



図表 82 問 17-4 自由にお金を使わせない、生活費を渡さない (SA) [性別・経年比較]



(6) 配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思う行為<友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する>

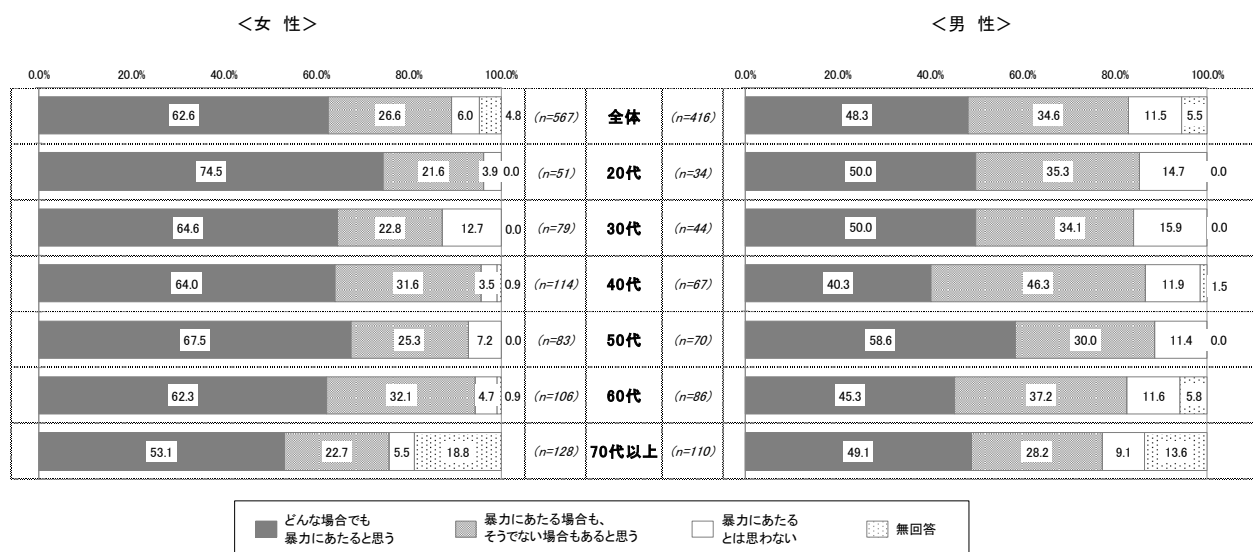
全体の 56.5%が「友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する」という行為を、「どんな場合でも暴力にあたる」行為として認識している。「暴力にあたるとは思わない」という認識は 8.4%であった。

性別・年代別では、50 代男性(58.6%)と、20 代女性(74.5%)で、「どんな場合でも暴力にあたると思う」が最も高い。経年比較でみると、平成 27 年度調査の際には男性 42.3%、女性 48.4%だったのが、男性 48.3%、女性 62.6%と、特に、特に女性で「どんな場合でも暴力に当たると思う」という認識の割合が高くなっている。

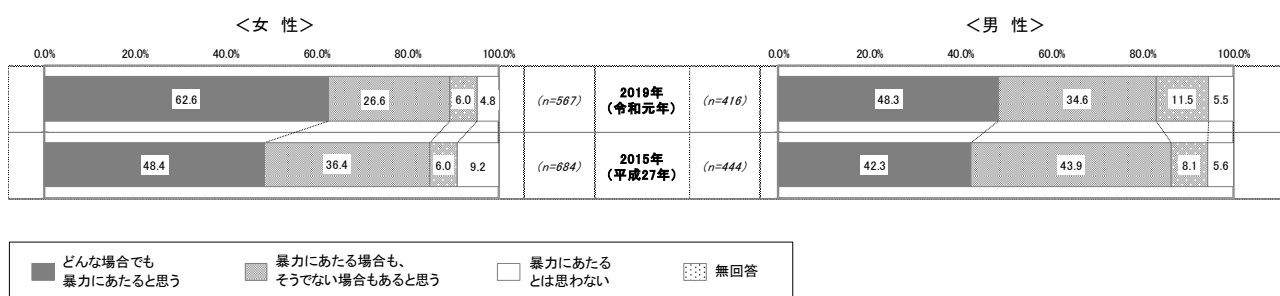
図表 83 問 17-5 友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する (SA) [全体・性別] (%)

		全体 (n)	どんな場合でも暴力にあたると思う	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1005	56.5	29.7	8.4	5.5
性別	男性	416	48.3	34.6	11.5	5.5
	女性	567	62.6	26.6	6.0	4.8
	その他・答えたくない	11	72.7	9.1	9.1	9.1
	無回答	11	36.4	18.2	9.1	36.4

図表 84 問 17-5 友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する (SA) [性別・年代別]



図表 85 問 17-5 友達や身内とのメールなどをチェックしたり、つきあいを制限する (SA) [性別・経年比較]



(7)配偶者・パートナーの間で行われた場合に、暴力だと思ふ行為<嫌がっているのに性的な行為を強要する>

全体の 78.9%が「嫌がっているのに性的な行為を強要する」という行為を、「どんな場合でも暴力にあたる」行為として認識している。「暴力にあたるとは思わない」という認識は 2.0%であった。

性別・年代別でみると、「どんな場合でも暴力にあたると思ふ」という回答は、60 代男性(74.4%)、70 代以上男性(68.2%)、70 代以上女性(61.7%)では低くなっているが、それ以外の年代では、おおむね 8 割台~9 割と高くなっている。

図表 86 問 17-6 嫌がっているのに性的な行為を強要する (SA) [全体・性別]

		全体(n)	どんな場合でも暴力にあたると思ふ	暴力にあたる場合も、そうでない場合もあると思ふ	暴力にあたるとは思わない	無回答
全体		1005	78.9	13.7	2.0	5.4
性別	男性	416	76.7	16.3	1.7	5.3
	女性	567	81.0	12.0	2.3	4.8
	その他・答えたくない	11	81.8	9.1	0.0	9.1
	無回答	11	54.5	9.1	0.0	36.4

図表 87 問 17-6 嫌がっているのに性的な行為を強要する (SA) [性別・年代別]

